

私たちを取り巻く“生きづらさ”を解きほぐす
～これまでの社会の“ふつう”を問い直すことから～

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会

第2号

2024年8月6日発行

地域別人権教育担当者交流会のご報告

こんにちは、府立人研事務局です。府立人研通信第2号では、5月26日(金)に行われた「地域別人権教育担当者交流会」のご報告をさせていただきます。



北会場

会場：府立柴島高等学校

校種や人権担当者としての経験年数が様々なメンバーが集まり、交流会が行われた。各学校での取り組みを共有し、人権教育を進めていく上で感じている課題や悩みについて出し合い交流を行った。

取り組みの共有では、人権HRや教職員研修でどのようなテーマを取り扱ったのか、どのような講師を呼んだのかについて交流し合った。その中で、人権担当から年度始めの集会で、使ってはいけない言葉についてその理由と共に伝える時間をとることによって、差別発言事象が激減したというエピソードや、SNSについて考えるHR、自分を見つめるHR、部落差別問題について考えるHR等実際に学校で使用した教材を共有する方もおり、大変有意義な時間となった。

課題や悩みの共有では、「初めて人権教育担当になりどのように学習や研修を進めていけばいいのか不安である。」、「どのように人権学習の内容を決めていけばよいのだろうか。」、「人権学習や研修を実施する際の教職員間での温度差がありやりづらい。」、「系統立てての人権学習ができていない。」等が出された。それらを受けて、会場全体で意見交流を行った。他の学校ではどのようにしているのか等交流を行った。

参加者からは、「人権担当として、やるべきことが見え、来週から学校現場で頑張ろうと思えました。一人で抱えこまず、多くの人と協力しながら進めていきたいと思っています。」、「他校のお話をお伺いできて、また教材等も見せて頂き、参考になりました。」

「各校の悩みから自分の学校との共通点等を知り、心強い気持ちになりました。」という感想が寄せられた。



南会場

会場：府立今宮高等学校

人権教育を長年担当されている方や、初めての方等、様々な立場の参加者が集まった。

前半は、「自校の人権HRの取り組み状況」、「自校の教職員人権研修の取り組み状況」、「人権教育を進めていく上での課題や悩み」について、共有した。

取り組み内容については、「同和教育」、「LGBTQ」、「情報と人権」、「統一応募用紙と就職」等が挙げられた。教職員人権研修については、内容に適した講師による講演や、1つのテーマについて教職員でグループワークをしている学校等様々であった。課題や悩みについては、「教職員人権研修の内容は何かが良いか、内容に適した講師がなかなか見つからない。」、「人権LHRを実施する時間が少ない。」、「人権教育に取り組む姿勢が教員間で差がある。」という意見が出た。

後半では、取り組み内容や課題等について、質疑応答や意見交流を行った。参加者からは、人権教育の目的として「様々な問題に対して、正しく認識を持ち、差別をしないという土台を築かせることが大切である。」という声等があった。他校の情報を知ることができ、充実した交流会となった。



府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106

府立柴島高等学校内
(通送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通)
(お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-Mail furitsujinken@nifty.com
(お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。)

URL <http://furitsujinken.in.cocan.jp/>



← 府立人研 HP も
チェックしてくださいね

